Ⅰ　研究活動報告　研究活動の概況

1　研究活動方針

平成の時代より、障害者の権利に関する条約が批准されるとともに、障害者差別解消法が施行され、共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育システム構築の動きが加速している。各学校においては必要な幼児児童生徒に合理的配慮の提供が求められ、ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善の取組が進められている。

令和の時代においても、学習指導要領の改訂に伴い、特別支援学校と小学校等の各教科の目標や内容の連続性・関連性が整理されたことや、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加していることなどから、特別支援教育の推進は、特別支援学級・通級指導教室・特別支援学校ではもちろんのこと、幼稚園、小・中学校、高等学校の全ての学校において、なお一層その重要性が増してきていると言える。そのため、私たちはより高い専門性を身に付けるとともに、幼児児童生徒が志をもち夢と自信に満ちて社会で活躍できるよう、自立に向けた指導･支援を推進する必要がある。

本研究会では、特別支援学校・特別支援学級における教育課程や学級経営の在り方をはじめ、通常の学級に在籍する特別な支援の必要な幼児児童生徒への指導・支援などの課題を明らかにし、その解決方策について、研究協議を行ってきている。さらに、幼小中高特全ての学びの場において、全ての教職員が特別支援教育を理解し、実践できるようにしたいと考えている。特別支援教育推進に係る諸課題解決に向け、学校及び教職員が抱える今日的課題を踏まえて研究を推進し、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の一層の充実を目指して、これまで開催してきた研究協議会の成果を活かし、教職員の指導力の向上と本県特別支援教育の振興に寄与する。

幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて

○幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。

○発達障害のある幼児児童生徒をはじめ、学習や生活に特別な支援を必要とする子に対する指導の在り方を追究する。

○全特連埼玉大会・全難言協全情研全国大会の成果等を踏まえ、新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させる。

2　事業計画

（1）　令和８年度（2026）総会
令和８年５月 21 日(木)
埼玉大学教育学部附属特別支援学校

（2）　第 65 回埼玉県特別支援教育研究協議会
深谷大会
日時　令和８年８月５日（水）
場所　埼玉大学教育学部附属特別支援学校
開催方法　オンライン開催
全体会：オンライン配信
分科会：９分科会、オンライン協議

（3）提案者等推薦
第 65 回全特連全国大会新潟大会
令和８年 10 月 15 日（木）、16 日（金）
第６分科会　通級による指導（言語障害学級）
提案者：埼玉県入間市立豊岡小学校
宮岡智子　教諭
司会者：所沢市立三ケ島小学校
新井詩織　教諭

（4）　後援事業
・埼玉大学教育学部附属特別支援学校研究協議会
令和８年１２月１２日(土)

（5）研究部活動（会報原稿が揃い次第追記します）
・難聴・言語障害教育研究部会
第１回全体研修会　令和８年　月　日
第２回全体研修会　令和８年　月　日
第３回全体研修会　令和８年　月　日
第４回全体研修会　令和　年　月　日

・発達障害・情緒障害教育研究部会
第１回研究協議会　令和８年　月　日
第２回研究協議会　令和８年　月　日

・特別支援学校部会
研究部会でそれぞれ年３回研究会を実施

（6）会報の発行　第 59 集（令和９年３月発行）

（7）理事・役員研究協議会
第１回役員研究協議会　令和８年４月 28 日(水)
第１回理事研究協議会　令和８年５月 21 日(木)
第２回役員研究協議会　令和８年７月　３日(金)
第２回理事役員研究協議会
兼第３回役員研究協議会　令和８年 11 月 27 日(金)

（8）その他の事業
・地域･地区特別支援教育研究会への支援